

平成29年9月28日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長

田 村 文 男 (公印省略)

教員の公募について(依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 公募する職と人数

教授 1 名

2. 所 属

生命環境農学科 生命環境農学講座 生命機能化学教育研究分野

3. 応募資格

- (1) 有用酵素の探索と機能解析、産業利用に向けた酵素の機能改変と固定化技術の開発、ならびに酵素機能を利用した分析法の開発やペプチド類の合成に関する教育研究に熱意をもって取り組めること。
- (2) 鳥取大学農学部教員選考基準(資料1)を満たしていること。
- (3) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻が担当できること(資料2)。
- (4) 全学共通科目・一般教養科目(生物学)、教育職員免許状関係授業科目(化学)が担当できること。

*資料1、2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。

(<http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

4. 担当授業科目等

(1) 学 部：担当予定教育コース 農芸化学コース

担当予定科目：発酵生産学Ⅰ・Ⅱ、基礎生化学（分担）、インターンシップ、地域協働型
インターンシップ、生命環境農学演習Ⅰ・Ⅱ、海外農学実践科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、
自然科学英語Ⅱ（分担）、農芸化学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（各分担）、
実践農芸化学英語Ⅰ・Ⅱ（各分担）、卒業研究、全学共通科目・一般教養科目（生物学）、
教育職員免許状関係授業科目（化学）等

（旧課程：生物資源環境学科※）

タンパク質化学、発酵生産学、生命・食品化学実験Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ（各分担）、
科学英語Ⅰ（分担）・Ⅱ、農学実践科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業論文

※平成29年4月農学部生命環境学科の設置に伴い、旧課程（農学部生物資源環境学科）の担当もあります。

(2) 大学院：持続性社会創生科学研究科 農学専攻 農芸化学コース生命機能化学教育研究分野

担当予定科目：発酵・酵素利用学特論、生命環境農学特論Ⅲ（生命環境科学）（分担）、
農学特別演習Ⅰ（分担）・Ⅱ

5. 提出書類

- | | |
|----------------------------------|-------|
| (1) 履歴書（記入要項参照） | 1 通 |
| (2) 調査書（記入要項参照） | 1 通 |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文および総説の別刷（複写も可） | 各 1 部 |
| (4) 主要研究業績の概要（2,000 字程度） | 1 部 |
| (5) 教育研究に対する抱負（1,200 字程度） | 1 部 |
| (6) 推薦者がある場合は推薦書 | 1 通 |

* 記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。

(<http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

6. 応募締め切り

平成29年12月15日（金） 必着

7. 選考方法

書類選考の後、最終候補者にプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

8. 採用予定年月日

平成30年4月1日

9. 書類送付先および問い合わせ先

〒680-8553

鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部生命環境農学科生命環境農学講座

生命機能化学分野教員 予備選考委員長 河野 強

電話：0857-31-6764

E-mail：kawano@muses.tottori-u.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送りください。

10. その他

(1) 鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(2) 鳥取大学および鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・鳥取大学男女共同参画推進室

<http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/>

- ・鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/worklife-balance-suppot/>

- ・鳥取県の「子育て王国とっとり」

<http://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. 農学部生命環境農学科には教員組織として生命環境農学講座があります。また、食、生命、環境に関する学際的な4つの教育コース（国際乾燥地農学コース、里地里山環境管理学コース、植物菌類生産科学コース、農芸化学コース）で構成されています。

農芸化学コースは次の教育目的と教育目標を掲げています。

【教育目的】

化学と生物学、微生物・植物・動物の基礎から応用までを幅広く学び、生物資源や食品、環境などに関連した様々な知識と技術を有した人材を養成します。

【教育目標】

(1) 生化学・分析化学・食品科学・生物学に関わる「化学」と「生物学」両方の基礎的専門知識と技術を学んだ視野の広い人材を育成します。

(2) 微生物、植物、食品などに関係した多岐にわたる基礎・応用実験を通じて、実践力と課題探求能力、研究開発能力を養成します。

(3) 講義で学んだ知識と実験・演習で獲得した技術を統合して、新たな発見や問題解決へ向けた独創的な思考力を養います。

2. 本学部は、島根大学生物資源科学部、山口大学農学部とともに、鳥取大学大学院連合農学研究科を構成しており、本学部の教員は、博士課程の教育・研究指導も担当しています。

以上